

## 平成17年度病院事業会計決算（速報）について

### 【決算の概要】

17年度は、本市病院事業に地方公営企業法を全部適用し、病院経営局として独立した初年度となります。経常収支の赤字は病院事業全体で約5億円減少し、約30億円となりました。また、患者数は、みなと赤十字病院の開院などにより大幅に増加しました。

(注)17年度は、一般会計繰入金の見直しや、みなと赤十字病院の開院などにより、事業構造が16年度以前とは大きく変わっており、前年度決算との単純な比較は困難となっています。なお、決算については、監査委員の審査を経て第3回市会定例会に上程されます。

### ○経常収支の状況

(単位 百万円)

	17年度	16年度	増△減	備考
病院事業会計	△ 3,022	△ 3,552	530	
一般会計繰入金	5,121	4,586	535	
市民病院	113	785	△ 672	
一般会計繰入金	1,511	2,296	△ 785	
脳血管医療センター	△ 1,249	△ 2,319	1,070	
一般会計繰入金	2,296	1,575	721	
みなと赤十字病院	△ 1,886	-	△ 1,886	17年4月開院（584床） 日本赤十字社による運営
一般会計繰入金	1,314	-	1,314	
旧港湾病院	-	△ 2,018	2,018	17年3月閉院（300床）
一般会計繰入金	-	715	△ 715	

(注)17年度の一般会計繰入金は、地方公営企業法の全部適用以降に発生した本部経費に対する繰入金を除いています。

### ○患者数の状況

	17年度	16年度	増△減	増減率
入院患者数合計	435,863人	332,179人	103,684人	31.2%
市民病院	205,245人	202,599人	2,646人	1.3%
病床利用率	93.7%	92.5%	1.2%	-
脳血管医療センター	85,769人	95,745人	△ 9,976人	△ 10.4%
病床利用率	78.3%	87.4%	△ 9.1%	-
みなと赤十字病院	144,849人	-	144,849人	皆増
病床利用率	68.0%	-	68.0%	-
旧港湾病院	-	33,835人	△ 33,835人	皆減
病床利用率	-	30.9%	△ 30.9%	-
外来患者数合計	594,786人	517,745人	77,041人	14.9%
市民病院	335,259人	356,517人	△ 21,258人	△ 6.0%
脳血管医療センター	35,602人	38,042人	△ 2,440人	△ 6.4%
みなと赤十字病院	223,925人	-	223,925人	皆増
旧港湾病院	-	123,186人	△ 123,186人	皆減

(注)市民病院の病床利用率は、感染症病床を除く一般病床の利用率です。

## 市民病院

過去最高の病床利用率（93.7%）と、3年連続の経常黒字を達成！

一般会計繰入金を民間病院への補助等に準拠した積算に見直すなど約8億円削減する一方で、過去最高の病床利用率を達成し、3年連続で経常黒字を確保しました。

### 経営改善の取組

#### 【救急医療の充実】

17年10月から整形外科の24時間365日の救急を開始するなど、救急患者の積極的な受入れにより入院患者数が増加しました。

(救急患者数 16年度19,031人→17年度19,916人(885人増))(病床利用率 16年度92.5%→17年度93.7%)

#### 【がん診療機能の充実】

内視鏡センター及び外来化学療法室を開設(18年3月)し、患者の身体的負担の軽減や在宅療養の推進を図りました。また、がん検診の土曜日検診(月1回)を開始しました。(17年11月)

#### 【地域医療連携の推進】

紹介患者予約センター(17年6月)及びかかりつけ医案内コーナー(17年8月)を開設し、地域医療機関との紹介・逆紹介を推進しました。(紹介率 16年度40.8%→17年度61.2% 逆紹介率 16年度29.5%→17年度42.6%)

#### 【病院機能評価の認定】

(財)日本医療機能評価機構の病院機能評価の認定を受けました。(17年5月)

#### 【外来診療開始時間の繰上げ】

外来の診療開始時間を15分早め、8時45分からとしました。(18年4月)

## 脳血管医療センター

一般会計繰入金が増額と減価償却費の減少などにより、収支は厳しいながらも一定の改善、一方で救急の一部制限などにより患者数は減少

「横浜市立病院経営改革計画」に基づき、脳血管疾患医療の構造的な不採算性については、一部を一般会計で負担することを明確化し、一般会計繰入金を約7億円増額したこと及び減価償却費が約3億円減少したことなどから、経常収支の赤字額は約11億円減少しています。しかし、10月から土日の救急対応を一部制限したことなどから、患者数は入院・外来ともに減少しました。

### 経営改善の取組

#### 【回復期リハビリテーション病棟の施設基準取得などリハビリテーションの充実】

市内に不足する回復期リハビリテーション病棟の施設基準を1年前倒しで取得するなど、医療の質の向上と経営改善の両面から改革を推進しました。(17年11月)

#### 【MR検査枠の拡大】

MR検査を昼休みも実施するなど、検査枠を週19枠増加しました。(17年10月)

## みなと赤十字病院

患者数は順調に増加、救急患者を積極的に受入れ

収入額と同額を指定管理者に交付する仕組みであり、建物の減価償却費等と同額の経常赤字が計上されます。なお、19年度以降は標準的な減価償却費相当額として、年間約6億円の負担を指定管理者に求めます。

### 主な取組

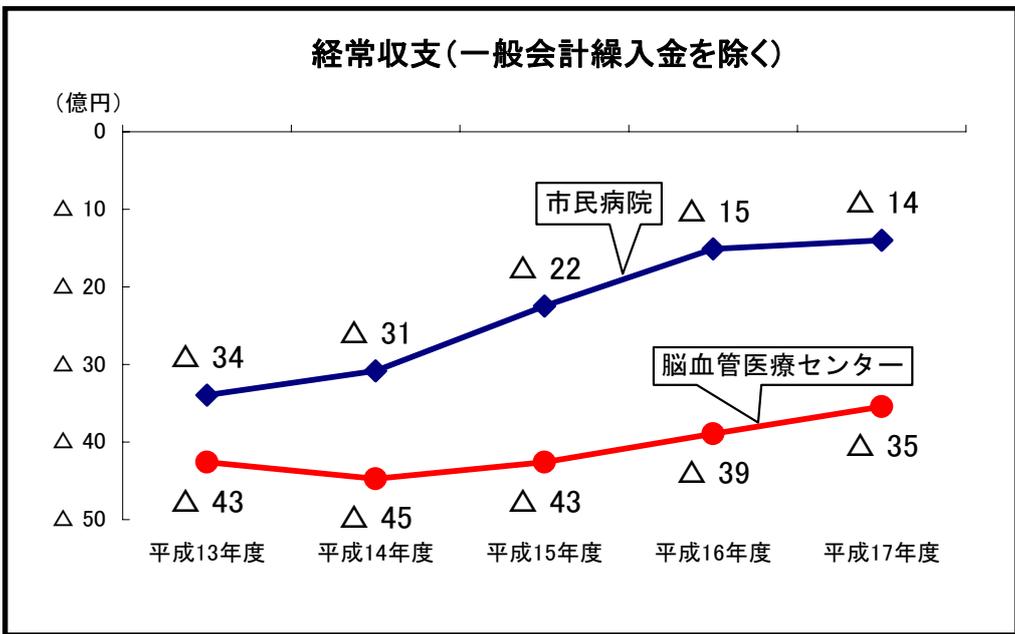
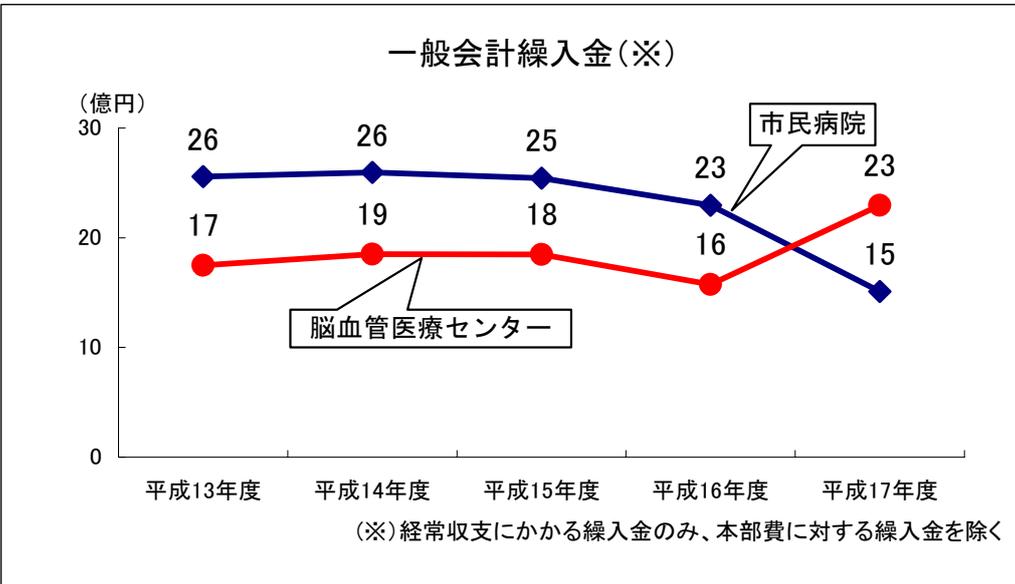
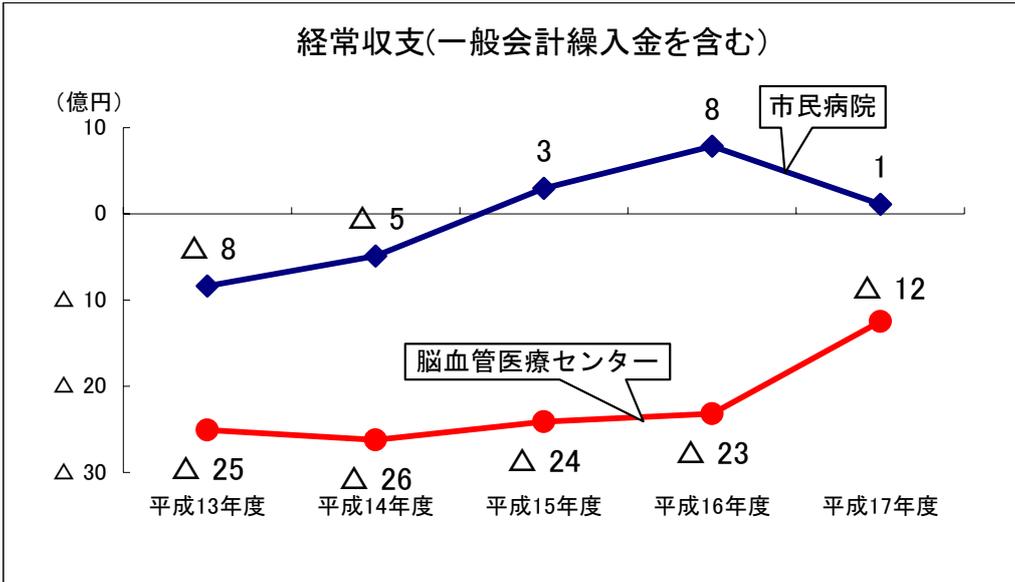
#### 【政策的医療等の実施】

救急医療、緩和ケア医療(17年5月～)、アレルギー疾患医療(17年7月～)などの政策的医療等を実施しました。(救急患者数 17,453人、緩和ケア患者数 3,662人、アレルギー医療に関する啓発活動(8回)や研究(3テーマ)の実施)

#### 【電子カルテの導入】

電子カルテの運用を開始し、検査の予定や検査結果のお知らせ、食事メニューの選択などに関する情報を開示し、患者サービスの向上を図りました。(17年4月)

市民病院・脳血管医療センターの過去5年の収支推移

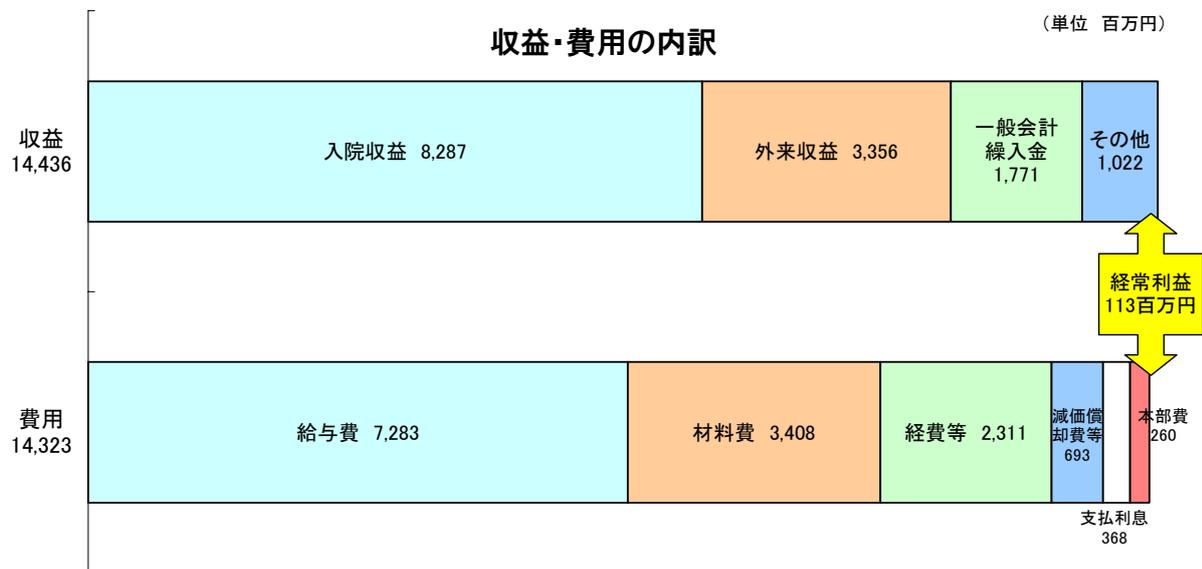


# 市民病院 決算の概要

## 収益的収支

(単位 百万円)

	17年度	16年度	差引	増△減	増減説明
<b>収益的収入</b>	<b>14,436</b>	<b>15,040</b>	<b>△604</b>	<b>△ 4.0%</b>	
入院収益	8,287	8,304	△17	△ 0.2%	
外来収益	3,356	3,616	△260	△ 7.2%	地域連携を強化し、逆紹介を推進したことによる患者数の減により、減少しました
一般会計繰入金	1,511	2,296	△785	△ 34.2%	救急医療経費やがん検診センター運営経費等に対する繰入の見直しを行いました
本部費繰入金	260	0	260	皆増	16年度まで一般会計負担であった本部費に対する繰入です
その他	1,022	824	198	24.0%	
<b>収益的支出</b>	<b>14,323</b>	<b>14,255</b>	<b>68</b>	<b>0.5%</b>	
給与費	7,283	7,379	△96	△ 1.3%	退職手当の減などにより減少しました
材料費	3,408	3,267	141	4.3%	抗がん剤など高額薬品の使用量の増などにより増加しました
経費等	2,311	2,414	△103	△ 4.3%	委託料や光熱水費の減などにより減少しました
減価償却費等	693	798	△105	△ 13.2%	昭和63年に再整備した建物等の減価償却が一部終了しました
支払利息	368	397	△29	△ 7.3%	
本部費	260	0	260	皆増	16年度以前は一般会計で負担していましたが、地方公営企業法全部適用により、病院経営局の負担となった費用です。
<b>経常収支</b>	<b>113</b>	<b>785</b>	<b>△672</b>	<b>△ 85.6%</b>	



# 脳血管医療センター 決算の概要

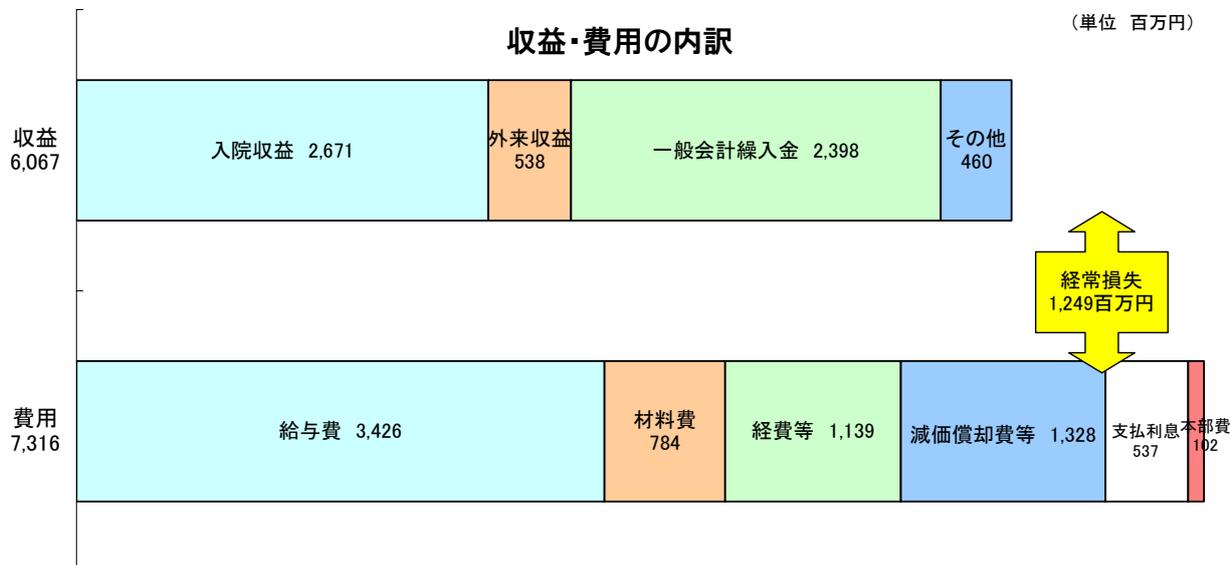
## 収益的収支

(単位 百万円)

	17年度	16年度	差引	増△減	増減説明
<b>収益的収入</b>	<b>6,067</b>	<b>5,401</b>	<b>666</b>	<b>12.3%</b>	
入院収益	2,671	2,795	△124	△ 4.4%	患者数の減により、減少しました
外来収益	538	539	△1	△ 0.2%	
一般会計繰入金	2,296	1,575	721	45.8%	不採算医療である脳血管疾患医療について、繰入金を増額しました
本部費繰入金	102	0	102	皆増	16年度まで一般会計負担であった本部費に対する繰入です
その他	460	492	△32	△ 6.5%	
<b>収益的支出</b>	<b>7,316</b>	<b>7,720</b>	<b>△404</b>	<b>△ 5.2%</b>	
給与費	3,426	3,463	△37	△ 1.1%	退職手当の減などにより減少しました
材料費	784	868	△84	△ 9.7%	患者数の減などにより、減少しました
経費等	1,139	1,186	△47	△ 4.0%	委託料の減などにより減少しました
減価償却費等	1,328	1,649	△321	△ 19.5%	開院時に整備した備品の減価償却が終了し、大きく減少しました
支払利息	537	554	△17	△ 3.1%	
本部費	102	0	102	皆増	16年度以前は一般会計で負担していましたが、地方公営企業法全部適用により、病院経営局の負担となった費用です。
<b>経常収支</b>	<b>△1,249</b>	<b>△2,319</b>	<b>1,070</b>	<b>46.1%</b>	

## 収益・費用の内訳

(単位 百万円)



# みなと赤十字病院 決算の概要

(単位 百万円)

## 収益的収支

	17年度	16年度	差引	増△減	説明
収益的収入	10,064	0	10,064	皆増	
入院収益	6,471	-	6,471	皆増	指定管理者に交付します
外来収益	1,902	-	1,902	皆増	指定管理者に交付します
一般会計繰入金	1,321	-	1,321	皆増	
政策的医療等	416	-	416	皆増	救急医療、アレルギー医療等に対する繰入金で、指定管理者に交付します
支払利息分	898	-	898	皆増	企業債利息の支払いに対する繰入金です
本部費分	7	-	7	皆増	16年度まで一般会計負担であった本部費に対する繰入金です
その他	370	-	370	皆増	室料差額、国・県補助金などの収益で、指定管理者に交付します
収益的支出	11,950	-	11,950	皆増	
経費(交付金)	9,159	-	9,159	皆増	入院・外来・その他収益、政策的医療等繰入金を指定管理者に交付します
減価償却費等	1,886	-	1,886	皆増	現金支出が伴わない費用で、この額がそのまま赤字額になります
支払利息	898	-	898	皆増	
本部費	7	-	7	皆増	16年度以前は一般会計で負担していましたが、地方公営企業法全部適用により、病院経営局の負担となった費用です。
経常収支	△1,886	-	△1,886	皆増	

